

令和7年度 小林市立永久津小学校 自己評価書

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	笑顔と思いやり、意欲あふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって伝統と絆をつなぐ ～
--------------	---

<b>知育</b>	【重点目標】主体的な学びと確かな学力の向上
-----------	-----------------------

目標達成のための手段	具体的な 数値目標等	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析および改善策
			取組別	総合	
1 基礎的・基本的な 学力の定着と活用力 の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート(児童、保護者、職員)肯定的評価 80%以上</li> <li>CRT 正答率 80%以上</li> <li>70%以上の児童 CRT 正答率向上</li> <li>国語算数単元テスト平均 80点以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材研究の時間確保</li> <li>日常的授業改善</li> <li>1人1回以上の研究授業</li> <li>授業やぐんぐんタイムにおいて習熟の時間確保</li> </ul>	3	2.8	○ 教職員の評価及び下学年児童の肯定的評価は 80%を下回ったが、上学年児童、保護者のアンケートは肯定的評価が 90%以上となった。放課後の職員研修や会議等は基本的に水曜日だけにすることで、教材研究の時間を確保した。朝の時間では水曜日と金曜日にぐんぐんタイムを設定することで、どの学級も確実に習熟の時間を確保することができた。
2 個に応じた指導の 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート(保護者、職員)肯定的評価 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態把握と個に応じた指導の工夫</li> <li>個別最適な学びの推進</li> </ul>	2		○ アンケートの肯定的評価が 80%を下回っていた。特に個に応じた指導について、より充実させる必要があることを全職員で共通理解し、実践する。
3 主体的・協働的に学 ぶ児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート(児童、保護者、職員)肯定的評価 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修を中心とした主体的・協働的な学習についての研修実施</li> </ul>	4		○ 全職員で理論研究及び授業研究を進め、主体的に学び、思考力や表現力の向上を目指した授業改善に取り組んできた。個別最適な学びと協働的な学びの往還により、基礎的・基本的な知識・技能や、思考力・判断力・表現力を高めることができ、その成果を研究公開で披露することができた。
4 ICT 機器の効果的な 活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート(保護者、職員)肯定的評価 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な ICT 機器活用の推進</li> <li>校内自主研修会の実施</li> </ul>	3		○ どの学年も週 3 回以上は児童用タブレットを使用して学習を進めた。また、ロイロノートの研修会に参加することで、新しい授業の在り方について模索することができた。
5 基本的学習習慣の 確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート(児童、職員)肯定的評価 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な指導</li> </ul>	2		○ 特に家庭学習について、肯定的評価が 80%を大きく下回っていた。家庭学習をどのように取り組むのか、参観日や学級活動の時間を中心に共通理解を図る必要がある。

德育		【重点目標】互いを認め高め合う態度の育成				
		目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価 取組別   総合	結果の考察・分析および改善策
1	基本的な生活習慣の定着	・アンケート(児童、保護者、職員) 肯定的評価 90%以上	・日常的な指導 ・集会や集団下校時における評価や指導	3	3.2	○ 校内での挨拶はできている。校外でのあいさつについても指導を工夫していきたい。
2	いじめ・不登校の未然防止と早期対応	・不登校ゼロ、いじめ解決 100%	・生活に関するアンケート、教育相談及び・I F 委員会の実施 ・日常的な観察による児童理解及び支援	3		○ 毎月のアンケートや関係機関との情報共有で支援することができてきている。また、教育相談を定期的に行い、児童理解を深めた。
3	道徳科の時間の充実	・「学校生活は楽しいと思う」アンケート(児童) 肯定的評価 90%以上 ・アンケート(職員) 肯定的評価 80%以上	・道徳授業充実のための教材研究 ・栽培活動の充実(学級園・一人二鉢運動) ・全校放送での誕生日児童の紹介	3		○ 交友関係について不安を感じている児童が少しいるので、担任が十分配慮するとともに、道徳科の指導も一層充実させる必要がある。
4	読書と新聞活用の推進	・年間読書量週平均 2.5 冊以上 ・新聞掲載 30 件以上	・図書支援員との連携 ・委員会活動での呼びかけ ・学校長による新聞投稿の協力 ・新聞掲載者の紹介	3		○ 図書支援員との連携により職員や児童が利用しやすい環境づくりに取り組むことができた。図書支援員や委員会によるイベントなどを計画・実施したことで、図書室利用と貸出冊数も伸び、年間貸出冊数週平均は一人3冊となった。 ○ 新聞掲載は18件(1 月末まで)であったので、投稿を多く呼びかけたい。
5	豊かな体験活動の推進	・アンケート(職員) 肯定的評価 80%以上	・外部講師の積極的活用(読み聞かせボランティアなど) ・体験活動への積極的参加(米作り・そば打ち・小林観光地巡り・市議会見学など) ・市バスの有効活用	3		○ 朝の読み聞かせや学校保健委員会など、授業以外の様々な場面でも外部講師を積極的に活用することができた。 ○ 天候により実施できなかった体験活動もあったが、事前に計画していた体験活動はおおむね実施できた。
6	安心安全な教育環境の整備	・アンケート(職員) 肯定的評価 80%以上	・定期的安全点検 ・日常的巡視	4		○ 月1回の安全点検で危険箇所を確認し、補修等、適切な対応をとることができた。

体育		【重点目標】体力向上とがんばりぬく力の育成			
目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析および改善策
			取組別	総合	
1 スクールスポーツプランを意識した基礎体力の向上	・体力テストTスコア全国平均以上 80%以上	・体育授業における体力向上プランの実践 ・運動強化期間の設定 ・外遊びの促進	2	2	○ 落ち込みのある種目において、中学校体育教員を講師に招くなど、向上を図る方法を考えていく。
2 外遊びの奨励	・アンケート(児童) 肯定的評価 90%以上	・運動に親しむことができるような環境整備 ・自力登校の推進	2		○ 外遊びをしていると回答した児童が目標とする90%に満たなかった。児童委員会等で企画して外遊びの楽しさを啓発していきたい。 ○ 自力登校の児童が84%でおおむね達成できているが、家庭に啓発しながら90%を目指したい。
3 むし歯治療の向上	・むし歯治療率 75%以上	・各学年へ歯みがき指導 ・未治療者への受診勧告 ・保健便りによる啓発 ・フッ化物洗口の実施	2		○ むし歯治療率1月上旬現在29%。引き続き根気強く受診について対象家庭に呼びかけていく。 ○ フッ化物洗口は、予定通り実施できている。

食育		【重点目標】食に関する感謝と望ましい習慣の育成			
目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析および改善策
			取組別	総合	
1 家庭、地域と連携した食育指導の充実	・アンケート(児童、保護者、職員) 肯定的評価 80%以上 ・残食調査(各学年 500g以下) ・弁当の日の実施 年間2回	・食べる量と偏食について日常的な指導 ・給食献立ホームページへの掲載 ・食に関する体験活動	3	3.5	○ 「給食を好き嫌いせずに食べる」の肯定的評価84%、残食調査各学年毎月平均70~470gと、好き嫌いせずに給食を食べることができている。 ○ 食事のマナーに対する保護者の肯定的評価が目標の80%に満たなかったため、学校保健委員会、給食だより、ほけんだより、ホームページ等を活用して更なる家庭との連携を図りたい。 ○ 教育課程に沿って各食育に関する行事を計画的に実践できている。 ○ 今年度より弁当の日を夏休みの1回に絞って実施したが、食への関心を高める貴重な機会となった。

2 食物アレルギーをはじめとする食の安全の徹底	・アンケート(職員) 肯定的評価 80%以上	・食物アレルギーに関する職員研修の実施 ・複数の目による組織的管理	4		○ アレルギーに関する職員の自己評価100%で達成できた。 ○ 年度始めに学校薬剤師を講師に招き食物アレルギー研修を実施できた。
-------------------------	------------------------	--------------------------------------	---	--	---

目標達成のための手段		具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析および改善策
				取組別	総合	
1 学校運営協議会の機能を生かした活動充実	・学校運営協議会年3回実施	・学校運営協議会における協議、授業参観 ・学校関係者評価の実施	3	3.6	○ 学校外の方々から意見を伺う貴重な場となったが、全員揃うことが難しかった。	
2 地域組織を生かした教育の活性化	・アンケート(職員) 肯定的評価 80%以上	・米作り5年への協力依頼 ・芋づくり1・2年への協力依頼 ・めしげ踊り指導への協力依頼	4		○ 天候に恵まれなかった活動もあったが、地域の方々の協力を得られた。	
3 小中合同研究による授業改善	・小中合同研修、小中合同職員会年3回以上	・小中合同研修及び小中合同職員会の実施 ・永久津中校区研究公開の実施	4		○ 研究公開に向けて、小中合同で研究を進め、授業改善につながった。	
4 幼保小中の連携充実	・アンケート(職員) 肯定的評価 80%以上	・保育園、中学校との合同研修実施 ・保育園、中学校との日常的情報交換	4		○ 計画的に実施できた。	
5 学校ホームページや広報活動の充実	・学校だより毎月発行100% ・ホームページ毎月更新100%	・学校だより毎月発行 ・ホームページ毎月更新	4		○ 学校だよりやホームページをとおして、学校行事や各学年の取組等を積極的に発信することができた。	
6 時間とゆとりを生み出す教育課程の工夫	・アンケート(職員) 肯定的評価 80%以上	・会議の精選 ・授業時数の調整	4		○ 会議日設定の工夫により、放課後にゆとりができた。	
7 メディアコントロールの推進	・「スマートフォンなどに関するアンケート」数値向上	・保護者への「スマートフォンなどに関するアンケート」6月、12月実施 ・家庭教育学級、参観授業における啓発	2		○ 家庭教育学級での県ITアドバイザーによる講話や参観日での弁護士授業による出前授業等をとおして啓発を図ったが、アンケート結果等を見るとスマホ等の取扱いについては改善の必要性を感じる。	

## その他

【重点目標】活気ある地域学校協働活動、目標を共有した一貫教育の推進、開かれた教育活動と情報の発信、子どものための働き方改革、メディアコントロールの推進